

平成 26 年度 第 5 回 石狩市子ども・子育て会議 議事録

日時 平成 27 年 3 月 20 日（金）10 時 30 分～11 時 15 分

場所 石狩市民図書館視聴覚ホール

議事次第

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 議題
 - (1) 石狩市子ども・子育て支援事業計画について
- 4 その他
 - (1) 事務局より事務連絡
- 5 閉会

出席者

委員

坪田 清美	○	大久保 篤	○	高根 綾子	×
青木 貞康	○	近藤 宏	×	米倉 清隆	○
三浦 ひとみ	×	藤原 市子	○	木脇 奈智子	×
河岸 由里子	×	岩尾 美映	○	納谷 真智子	○

事務局

保健福祉部	部長 沢田茂明
保健福祉部子育て支援課	課長 池田幸夫、主査 大西泰斗、主任 山本健太
保健福祉部こども家庭課	課長 櫛引勝己

傍聴者 0名

【1 開会】

○事務局（池田課長）

みなさまおはようございます。

お忙しい中をお集まりいただきましてありがとうございます。

事務局の子育て支援課長の池田でございます。

定刻となりましたので、これより平成 26 年度第 5 回石狩市子ども・子育て会議を開催いたします。

本日配布させていただきました資料をご確認いただきたいと思います。

【資料 1】石狩市子ども・子育て支援事業計画素案の委員意見反映箇所一覧【資料 1-1】「石狩市子ども・子育て支援事業計画の策定について」に対する意見の検討結果について、ございますか。

本日の会議は 1 時間を予定しておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは、本日の出席状況をご報告いたします。

石狩市子ども・子育て会議条例第 5 条第 2 項の規定により、会議は委員の半数以上が出席しなければ開くことができないとされておりますが、本日は委員 12 人中 7 人の方にご出席をいただいておりますので、会議が成立することをご報告いたします。

続きまして、開会にあたり坪田会長からご挨拶いただき引き続き会議進行をお願いしたいと存じます。

【2 会長挨拶】

○坪田会長

みなさんおはようございます。

雪解けが進み、桜の便りも聞こえてきて、だんだん春が近づいてきましたが、保育業界では新制度の初年度ということで大変な日々を送っています。

みなさまにおかれましても、年度末のお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

今日は計画の承認をいただく会議となりますので、よろしくお願いいたします。

【3 議題（1）石狩市子ども・子育て支援事業計画について】

○坪田会長

それでは、(1) 石狩市子ども・子育て支援事業計画について、事務局からご説明お願いいたします。

○事務局（山本主任）

みなさんおはようございます。

子育て支援課の山本です。

私から議題（1）石狩市子ども・子育て支援事業計画について、説明させていただきます。

資料は、【資料 1】石狩市子ども・子育て支援事業計画素案の委員意見反映箇所一覧【資料 1-1】「石狩市子ども・子育て支援事業計画の策定について」に対する意見の検討結果について、となります。

まずは、石狩市子ども・子育て支援事業計画素案の委員意見反映箇所一覧についてですが、石狩市子ども・子育て支援事業計画の策定にあたり、平成 25.26 年度の会議で委員のみなさまからいただきましたご意見等を反映した箇所を一覧のとおりまとめた資料となっております。

該当ページを見ながら補足説明していきますので、ご確認願います。

【資料 1】石狩市子ども・子育て支援事業計画素案の委員意見反映箇所一覧
について説明

続きまして、「石狩市子ども・子育て支援事業計画の策定について」に対する意見の検討結果についてですが、こちらは、1/8 から 2/9 にかけて行いましたパブリックコメント結果の資料となります。

【資料 1-1】「石狩市子ども・子育て支援事業計画の策定について」に対する意見の検討結果について説明

以上で、議題（1）石狩市子ども子育て支援事業計画についての説明となります。

ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○坪田会長

事務局から子ども・子育て支援事業計画についての説明がありましたが、ご質問ご意見ありますでしょうか。

○事務局（大西主査）

本日欠席しております近藤委員から、資料で意見の提出がありましたので代読いたします。

1 保育料保護者負担額について

施設型給付については、幼稚園・保育所及び認定こども園に対する共通の給付制度として創設され、消費税財源も充当される趣旨を踏まえ、幼稚園・保育所及び認定こども園との間で整合性のある給付及び保護者負担となるよう公定価格を定めるべきであるが、1号認定子ども（幼稚園）と2号・3号認定子どもの平成27年度保育料設定において、石狩市では設定の基となる階層区分に大きな違い（1号認定～5階層、2・3号認定～20階層）があり、公平性を欠くものである。幼稚園・保育所及び認定こども園のいずれを利用する場合にも、同水準の階層区分にて保育料が設定されるよう平成28年度に向けて再考を願いたい。

2 保育料設定における近隣市との関係について

平成27年度保育料設定（教育標準時間の場合）について、石狩市では近隣の他市に比較して迅速に（札幌市とほぼ同時期）設定されたが、保育料月額が札幌市より高い設定となっている。保護者負担の差異によっては子育て世代の流出にも繋がりがねず、市のまちづくり計画や人口減対策と合わせて、石狩市に居住する子育て家庭の経済的負担の軽減に繋がるよう、隣接する札幌市と同水準以上となるよう平成28年度に向けて再考を願いたい。

3 教育・保育施設の利用定員について

利用定員については、私立幼稚園の園児数は年度により変動すること等を踏まえ認可定員の範囲内で実績に一定の猶予（例えば、実園児数+〇〇%等）を持たせて弾力的な取り扱いが可能となるよう平成28年度に向けての確認作業の再考を願いたい。

以上となります。

○坪田会長

近藤委員のご意見について、事務局の返答をお願いします。

○事務局（池田課長）

平成28年度に向けて再考を願うというご意見でしたので、平成27年度以降の子ども・子育て会議や市の業務の中で対応させていただくことと考えております。

○坪田会長

はい、わかりました。

パブリックコメントの回答で出てきた、認可保育所や幼稚園の里親に対する費用面での補助というのはどのようなものになりますか。

○事務局（櫛引課長）

幼稚園に関しては、一度、保護者が幼稚園に保育料を支払い、後日、支払った相当額が保護者に支給されます。

認可保育所については、保育料が無料となっています。

厚田区、浜益区には幼稚園や認可保育所がありませんので、へき地保育所を希望される場合は制度の狭間で補助は受けられないこととなります。

○坪田会長

はい、ありがとうございました。

他にご質問がないようでしたら、この計画案を承認していただくにあたり、委員のみなさんひとりずつご意見をいただきたいと思えます。

○藤原委員

計画上で「検討します。」と記載している施策・事業の具体策を考える時が、一番重要だと思っていますので、是非よろしくをお願いします。

○岩尾委員

公募委員で保護者代表として参加させていただきました。

会議全体を通して、専門家ではない保護者代表の市民には意見を言い出しづらかったのが、今後は保護者でも話しをしやすい方向で会議を進めていただければと思います。

○納谷委員

私も岩尾委員の発言と共通するところが多く、会議についていくのが精一杯でした。

もっと一般市民にも分かりやすい方法を検討していただければと思います。

○米倉委員

幼稚園と保育園の所管が異なる問題などについて、新制度がスタートし、今後、一本化をして検討していくことは、子ども達のことを考えると非常に良いことだと思います。

子ども達が少なくなっていくと幼稚園や保育園の運営が難しくなっていく中で、いかに子ども達目線で物事を考えていくかが必要だと感じました。

石狩市として、保護者が安心して子育てをできる環境をどのように作っていくのが重要だと思います。

○青木委員

みなさま、2年間お疲れさまでした。

それぞれ、専門の立場からのご参加ですので、分からない分野があったと思いますが、その中でもさまざまな意見を反映していただき、このような計画ができたと思っています。
今後は平成 31 年度に向けて計画に沿って進めていくことと思いますが、計画が全てではなく、計画に記載していないことでも子育て支援に必要な場合は、都度、協議してご対応願いたいと思います。

○大久保副会長

今年度から会議に参加させていただきました。

学校現場も年々制度が変化していき、時代に沿って求められるものが多く細かく深くなってきています。

学校現場でも以前から幼保小中高の連携の必要性は叫ばれていて、今回の新制度のスタートにあたり、学校と子育て機関との連携をより深く担っていかなくてはならないと感じました。

現実的に計画と合わないことが生じることもあると思いますが、柔軟な対応をお願いしたいと思います。

○坪田会長

制度を理解することは本当に難しい作業になります。

保育現場でも保育士は何度も何度も勉強会を開いて理解をしています。

限られた会議時間の中ではありますが、今後はもう少し噛み砕きながら進めたいと思います。

また、それぞれの立場の方のご意見をいただくのが、この会議の目的でもありますので、みなさん、是非これからもよろしく願いいたします。

この計画が、どのように実現していくかというのを注視して進んでいきたいと思っています。

それでは、この計画案を承認したいと思いますがいかがでしょうか。

= 異議なし =

はい、異議がありませんので、計画案を承認いたします。

【4 その他 (1) 事務局より事務連絡】

○坪田会長

それでは、その他について事務局よりお願いします。

○事務局（山本主任）

それでは、今後についてご説明いたします。

ただいまご承認いただきました計画案につきましては、子ども・子育て支援法第 61 条第 9 項の規定により北海道と協議を行います。

協議終了後、石狩市長の決定を以って計画策定完了となります。

次に来年度につきましては、委員のみなさまの任期は平成 28 年 8 月 31 日までとなっておりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

会議の議題は事業計画の進行管理や利用定員の設定についてを想定していきまして、年 3 回程度を予定してございます。

日程につきましては、平成 27 年度になりましたら調整してご連絡いたしますので、よろしくお取り計らい願います。

○事務局（沢田部長）

最後になりますが、私から一言お礼を申し上げます。

2年間という長丁場の中で、みなさんにご協力をいただいて計画を策定させていただいたことにお礼を申し上げます。

今回、総括としていただいた、会議の中で発言がしづらかったというご意見ですが、市が市民の方から一般公募をさせていただく時には、一定程度の専門知識を養っていただくこともありますが、市民目線で困っていることやこういうことが必要だということを、制度は度外視して発言していただいて、計画や政策に反映していくのが必要だと思っています。

来年度は計画の検証が始まっていきますので、少しでも分かりやすい事業展開、市民が見て分かる施策を実施していきたいと考えています。

国ではまだまだ不確定な要素があり決まった部分が見えていない状況です。

4月に制度がスタートしてから、不確定な部分が動いていくことと思いますので、委員のみなさんと情報共有しながら進めていきたいと思っています。

私事ではございますが、60歳を過ぎまして、この3月で定年退職となりますので、これ以降の進行管理は次の部長が担う形となりますので、よろしくお願いいたします。

本当にみなさん、2年間ありがとうございました。

○坪田会長

はい、ありがとうございました。

それでは、これで第5回石狩市子ども・子育て会議を閉会したいと思います。

みなさんご苦勞様でした。

平成27年4月8日議事録確定

石狩市子ども・子育て会議

会 長 坪 田 清 美